

山形保険医新聞

Yamagata medical practitioners newspaper

発行
山形県保険医協会
〒990-0043 山形市本町二丁目1の2フコク生命ビル
電話 023 (642) 2838
FAX 023 (642) 2839

購読料 円共1ヵ月 500円
印刷 コロニー印刷

第547号

6月号 TOPICS

- 2面…75歳以上資格確認証自動交付
- 3面…審査の一般的な取扱い(医科)
- 4面…審査情報提供事例(歯科)
- 5面…つるさんのお店探訪
- 6面…気になるワインの話

対象施設および支給額

区分	支援金額算出方法
病院(一般・療養・精神・結核・感染症)	8,500円×許可病床数
病院(特別高圧受電施設)	40,000円×許可病床数
医療有床診療所	20,000円+7,500円×許可病床数
医療無床診療所	20,000円
歯科診療所	20,000円

令和7年4月22日

山形県知事
吉村 美栄子 殿

電気料金等の光熱水費の高騰、入院食・食材料費の値上げに対して 医療機関へのさらなる支援をお願いします

山形県保険医協会
理事長 中島 幸裕
〒990-0043 山形市本町2-1-2
電話 023 (642) 2838
FAX 023 (642) 2839

貴職におかれましては、県民の健康増進、医療・歯科医療の確保のために尽力しておられることに敬意を表します。

本会は、県内870名の会員で構成する医科、歯科の保険医の団体として、保険医療の充実、県民の健康向上のための様々な活動に取り組んでいます。

電力料金等の光熱水費や食材料費の高騰は、医療機関の診療機能の維持や経営に大きな影響を及ぼしています。しかし診療報酬は公定価格のため、医療機関は他の事業者と異なり価格転嫁ができません。昨年12月に県内会員医療機関を対象としたアンケートには、「仕入れ値、物価、人件費がすべて上昇している」、「前年比マイナス20%の減収になった」、「職員からベースアップの要望があったが応えられず、他職種へ転職した」などの実態が寄せられています。地域の医療機関の日常診療が立ち行かなくなれば、患者や地域住民への医療提供や、健康の確保にも影響が及びます。

この間、政府の総合経済対策では、地方創生臨時交付金の「重点支援地方交付金のさらなる追加」を行うことが盛り込まれ、「推奨事業メニュー」として「医療・介護・保育施設、学校施設、公衆浴場等に対する物価高騰対策支援」が明示されました。

医療機関を取り巻く昨今の厳しい状況を踏まえると、食材料費や光熱水費などの諸物価高騰への公的な対応が不可欠です。これまでも山形県で医療機関への支援金が措置されてきたことは、医療機関と地域医療の支えとなっています。

県におかれては、政府の地域創生臨時交付金・重点支援地方交付金なども活用し、病院・診療所の別、医科・歯科の別を問わず医療機関に対する支援策を講じていただきますよう、下記の通り要望いたします。

記

一、県内の医療機関を対象にした、食材料費の値上げや光熱水費の高騰などに対する財政措置を実施、拡充すること

以上

山形県 物価高騰対策支援金支給 協会の要望実る

山形県は5月に「令和7年度山形県医療機関等物価高騰対策支援」として、病院1床につき8500円、有床診療所2万円+1床につき7500円、無床診療所は2万円の支援金支給を発表した。

この間、政府の総合経済対策として、地方創生臨時交付金を活用して医療機関などへの物価高騰対策支援を行うことが推奨されていた。県では今年1月に「令和6年度医療機関物価高騰対策支援金」として、病院1床につき6500円、有床診療所2万円+1床につき5000円、無床診療所は2万円の支援金支給を発表。しかし隣県の福島県では無床診療所33万3000円、東京都では15万円など他県と比べると支援金額は貧弱と言わざるを得ない。

また、他県では市町村単位で支援金を支給している自治体もあるが、県内市町村では医療機関向けの物価高騰対策は実施されていない。協会が昨年12月に実施した会員医療機関への調査では、

食・食材料費の値上げに対して医療機関へのさらなる支援を求める要望書を提出していた。今回の県の支援事業内容を見ると、病院・有床診療所については前回よりも支援金額が増加し、協会の要望が一部実ったものと言える。しかし無床診療所は変わらず2万円となっており、県内医療機関の厳しい実態に見合う支援が必要である。自治体独自で交付金に上乗せするなど、さらなる支援策を求めていく。

夏季特別号 投稿写真を募集します

山形保険医新聞8月号(8月15日発行)は、夏季特別号と題し、1面と6面をカラーでお届けいたします。

現在、1面を飾る写真を募集中です(薄謝あり)。

- 写真について**
テーマは特にありません。撮影時期も問いません。
写真に関するエピソード等を添えて、ご応募ください。
- 個人情報について**
差し支えなければ掲載させていただきますが、匿名での掲載も可能です。
- 募集期間について**
紙面構成の都合上、6月27日(金)までとさせていただきます。
- 応募方法について**
協会宛てに電話またはファクシミリでご一報ください。

お問い合わせ先：山形県保険医協会
TEL 023 (642) 2838 FAX 023 (642) 2839

山形県保険医協会 2025年前期 医療安全管理
院内研修用テキストとWeb配信のご案内

医科・歯科
保健所立入検査対応

医療安全管理 患者とのコミュニケーションで築く医療安全

院内感染対策 水痘、带状疱疹、麻疹、風疹、流行性耳下腺炎

診療用放射線 診療用放射線の安全な利用のために～Q&A～

動画解説

医療安全管理
山口 育子 認定NPO法人ささえあい医療人権センター
COML(コムル) 理事長

院内感染対策・診療用放射線
中島 幸裕 ICD(インフェクションコントロールドクター) 認定医
山形県保険医協会 理事長

動画時間

医療安全管理 45分(予定)
院内感染対策 15分(予定) 診療用放射線 20分(予定)

視聴期間

6月26日(木)・7月31日(木)

視聴方法

YouTube による Web 配信方式
インターネットによる視聴環境をご準備ください
視聴方法、ID、パスワードはテキストをご覧ください

対象

会員医科・歯科診療所、病院の全ての職員
診療用放射線は、放射線診療に従事する職員



会員

テキスト、視聴とも
無料です(要申込)



つばさ

最近、人間は死んでも死なないし、魂も実在すると言われ始めている。変な偽宗教の話だ。Zero Point Fieldという言葉をご存じだろうか？宇宙に存在する「量子真空」の中にこの宇宙のすべての出来事の情報記録されている。「何もないところ」に全てがある」という考えであり、肉体と意識体をもつ人間も多次元的に存在する。人間も粒子量子と波動量子から構成されており、両者は何億光年引き離しても互いに通信可能という。人間が死ぬと粒子量子は亡き骸とともに地上に残り地に帰るが、波動量子はZero Point Fieldに向かう。そこではすべての事象が記憶され、新たな生命が誕生するとき新たな波動量子として再生する。仏教で言う転生輪廻ではないか！それが本当かはわからないが、この壮大なシステムこそ神そのものと言ってもよいだろう。改めて宗教を学ぶべきなのか？

今、世界は唯物主義、経済至上主義、ニヒリズム、自己中心主義がはびこっている。戦争、差別、分断などは皆それらがもたらすものだ。人々は神を否定し心が現実を生み出すことを忘れ、金稼ぎのために、神、心を悪用する。人間死ねば終わりだから生きている内にやりたいことは何でもやってしまおうと思っている。これでよいのか？

(Y)